

泉大津市・和泉市・高石市地域
循環型社会形成推進地域計画

泉大津市
和泉市
高石市

泉北環境整備施設組合

平成 23 年 1 月 17 日 当初
平成 24 年 12 月 27 日 変更
平成 26 年 1 月 15 日 変更
平成 26 年 4 月 24 日 変更
平成 26 年 9 月 10 日 変更

目 次

1	地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項	1
(1)	対象地域	1
(2)	計画期間	1
(3)	基本的な方向	1
(4)	広域化について	1
2	循環型社会形成推進のための現状と目標	2
(1)	一般廃棄物等の処理の現状	2
(2)	一般廃棄物等の処理の目標	3
3	施策の内容	4
(1)	発生抑制・再使用の促進	4
(2)	処理体制	4
(3)	処理施設等の整備	7
(4)	施設整備に関する計画支援事業	7
(5)	その他の施策	8
4	計画のフォローアップと事後評価	9
(1)	計画のフォローアップ	9
(2)	事後評価及び計画の見直し	9

○様式関係

○添付資料

1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

構成市町村名 泉大津市、和泉市、高石市

面積 109.28 km² (平成 22 年 3 月 31 日現在)

人口 324,112 人 (平成 22 年 3 月 31 日現在) (住民基本台帳人口+外国人登録人口)

(内訳)

市名	泉大津市	和泉市	高石市
面積 (km ²)	12.95	84.98	11.35
人口 (人)	77,616	186,166	60,330

面積 109.69 km² (平成 24 年 11 月 30 日現在)

人口 323,704 人 (平成 24 年 11 月 30 日現在) (住民基本台帳人口+外国人登録人口)

(内訳)

市名	泉大津市	和泉市	高石市
面積 (km ²)	13.36	84.98	11.35
人口 (人)	77,131	187,337	59,236

(2) 計画期間

本計画は平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの 5 年間を計画期間とする。
なお、目標の達成状況及び社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

(3) 基本的な方向

泉大津市・和泉市・高石市地域（以下、「本地域」という。）では、ホームページ、広報紙及びポスター等のあらゆる広報媒体を通じ、市民、事業所及び自治会をはじめとした各種団体等々に対し、ごみの減量、分別の必要性をお願いしながら行政施策を展開してきたことにより、減量分別効果が得られた。

しかしながら、本地域のごみの排出量はまだまだ全国平均を上回っており、より一層の市民や事業者等の協力を得ながら、ごみの減量、分別施策への取り組みが求められている。

(4) 広域化について

昭和 38 年 2 月に泉大津市と和泉市で構成する一部事務組合として「泉大津市和泉市清掃施設組合」を設立し、共同でのごみ処理を開始した。昭和 41 年 5 月には新たに高石市が加わり、名称を「泉北環境整備施設組合」に改称し、現在に至るまでごみの広域処理を行っている。

また、各市と組合で定期的に合同会議を開催し、連携を強化しながらごみの適正な処理等、円滑な業務の遂行に努めているところであるが、今後はこの一部事務組合にとって、さらに効果的で効率的な運営を図るにあたり、広域化のあり方についても研究・検討をしていく必要がある。

2 循環型社会形成推進のための現状と目標

(1) 一般廃棄物等の処理の現状

平成 21 年度の一般廃棄物の排出、処理状況は図 1 のとおりである。

総排出量は集団回収量を含め、113,021 トンであり、再生利用される「総資源化量」は 19,222 トン、リサイクル率（＝（直接資源化量＋中間処理後の再生利用量＋集団回収量）／（ごみの総処理量＋集団回収量））は 17.0%である。

中間処理による減量化量は 80,673 トンであり、集団回収量を除いた排出量のおおむね 8 割が減量化されている。また、集団回収量を除いた排出量の約 13%に当たる 13,126 トンが埋め立てられている。

なお、中間処理量のうち、焼却量は 94,524 トンである。焼却施設では、発電を行っており、電力会社へ売電を行っている。

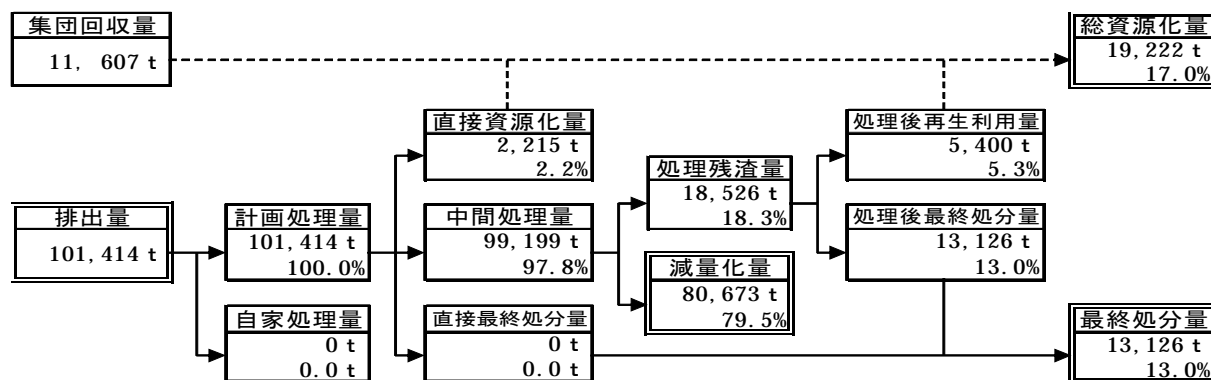


図 1 平成 21 年度 一般廃棄物の処理状況フロー

(2) 一般廃棄物等の処理の目標

本計画の計画期間中は、廃棄物の減量化・資源化を含めた循環型社会の構築に向けて、表1のとおり目標を定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

表1 減量化、再生利用に関する現状と目標

指 標		現 状 (割合 ^{※1}) (平成21年度)	目 標 (割合 ^{※1}) (平成28年度)
排 出 量	事業系 総排出量	35,782 トン	36,066 トン (0.8%)
	1事業所当たりの排出量 ^{※2}	3.03 トン/事業所	2.93 トン/事業所 (-3.3%)
	家庭系 総排出量	65,632 トン	54,037 トン (-17.7%)
	1人当たりの排出量 ^{※3}	186 kg/人	143 kg/人 (-23.5%)
合 計	事業系家庭系排出量合計	101,414 トン	90,103 トン (-11.2%)
再生利用量	直接資源化量	2,215 トン (2.2%)	1,619 トン (1.8%)
	総資源化量	19,222 トン (17.0%)	21,286 トン (20.8%)
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量)	52,752 MWh	45,800 MWh
減量化量	中間処理による減量化量	80,673 トン (79.5%)	69,330 トン (76.9%)
最終処分量	埋立最終処分量 ^{注)}	13,126 トン ^{注)} (13.0%)	11,866 トン (13.2%)

※1 排出量は現状に対する割合、その他は排出量に対する割合

※2 (1事業所当たりの排出量) = {(事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源ごみ量)} / (事業所数)

※3 (1人当たりの排出量) = {(家庭系ごみの総排出量) - (家庭系ごみの資源ごみ量)} / (人口)

《指標の定義》

排 出 量 : 事業系ごみ、生活系ごみを問わず、出されたごみの量(集団回収されたごみを除く。)[単位: トン]

再生利用量 : 集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和 [単位: トン]

熱回収量 : 熱回収施設において発電された年間の発電電力量 [単位: MWh]

減量化量 : 中間処理量と処理後の残渣量の差 [単位: トン]

最終処分量 : 埋立処分された量 [単位: トン]

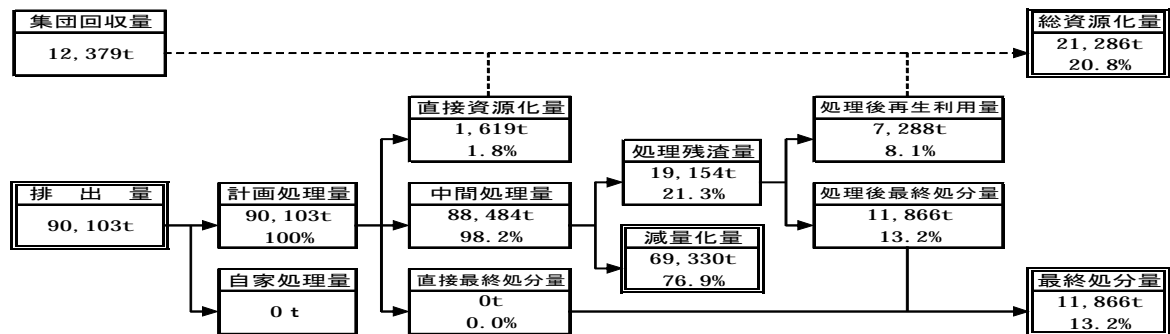


図2 目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー

3 施策の内容

(1) 発生抑制・再使用の促進

ア ごみの有料化

泉北環境整備施設組合における事業系一般廃棄物の処分については、平成 21 年 7 月 1 日より有料となった。

また、家庭系ごみでは泉大津市が平成 22 年 12 月 1 日より有料となり、高石市も平成 25 年 4 月 1 日より一部従量制による有料化となる。和泉市については、ごみの発生抑制・排出抑制の施策のひとつとして、調査・検討を進めていく。

イ 環境学習の普及啓発

ごみの発生抑制、再使用、ごみの適正排出に関する啓発を強化するとともに、啓発活動が効果的になるよう、各種団体と連携・協力しながら啓発手法を研究していく。

また、ごみ減量化・資源化に関する社会意識を育てるため、小・中学生を対象とした環境学習について、連携・協力した取り組みを検討していく。

さらに、公共施設や地域社会の場では、副読本・ポスター・リーフレット等を活用するとともに、クリーンフェスティバルを通じた啓発活動を継続・強化していく。

ウ 情報提供

ごみ処理の現状や本地域の施策、各種団体の活動紹介、一般家庭や個人でできる発生抑制及び再使用への取り組み方の紹介等を広く情報提供し、ごみ発生抑制・再使用への取り組みや活動を推進していく。情報提供の場としては、本地域の広報紙や本地域のホームページ及び公共施設をはじめとする掲示板の有効活用も図っていく。

(2) 処理体制

ア 家庭ごみの処理体制の現状と今後

分別区分及び処理方法は、表 2 のとおりである。

現状、本地域は人口が微増傾向で推移が続いているものの、家庭系ごみは微減傾向となっている状況である。

しかし、今後は、泉北クリーンセンター資源ごみ小型選別処理施設の老朽化による処理能力の低下及び維持管理費の上昇が見込まれることや本地域における新たな資源ごみの拡充に対応するためにも、マテリアルリサイクル推進施設を整備し、安全・安定した適正処理を推進していく。

イ 事業系ごみの処理体制の現状と今後

平成 21 年 7 月より事業者が収集運搬業者に委託するごみは、事業系ごみ指定袋排出による有料化を行っており、可燃ごみはごみ焼却施設、粗大ごみは粗大ごみ処理施設にて適正に処理を行っている。

今後、さらに事業系ごみ排出状況の調査を行い、多量排出事業者への指導強化を図るとともに、リサイクルの可能性について検討を行っていく。

ウ 一般廃棄物処理施設による併行処理する産業廃棄物

泉北環境整備施設組合は、一般廃棄物処理施設であり産業廃棄物の受入れを行っておりません。

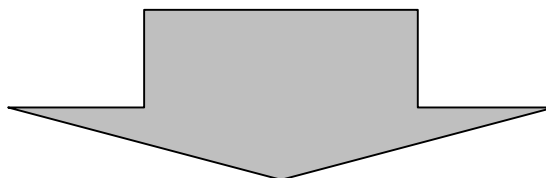
エ 今後の処理体制の要点

- ◇可燃性ごみについては、現状の体制を維持。
 - *焼却施設（泉北環境整備施設組合）において、高効率な熱回収（売電）を行っている。
- ◇粗大ごみについては、現状の体制を維持。
 - *粗大ごみ処理施設において粉碎選別した後、鉄・アルミについては資源化、その他は焼却処理している。
- ◇最終処分場施設については、ごみの減量・資源化を推進し、最終処理量の減量化を進め、更なる延命化を図る。
- ◇資源物の分別については、本地域において分別区分の統一化について、検討する。
- ◇資源物については、資源ごみ小型選別処理施設を更新し、新たな施設（マテリアルリサイクル）を整備する。
 - *空き缶（アルミ・スチール）、空びん、ペットボトル、白色トレイについては、資源化の選別処理能力を増強する。
 - *プラスチック製容器包装以外の資源化できないプラスチックは、可燃ごみとして焼却処理（熱回収）している。
 - *プラスチック製容器包装は、各市において独自に資源化しているが、本地域での収集体制の統一を図り、マテリアルリサイクル施設において広域処理を推進していく。

表2 本地域の家庭系ごみの分別区分と処理方法の現状と今後

現 状 (平成21年度)											
泉大津市				和泉市				高石市			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績 (トン)	分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績 (トン)	分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績 (トン)
可燃ごみ	焼却	泉北クリーンセンター ごみ焼却施設	14,374.10	日常ごみ	焼却	泉北クリーンセンター ごみ焼却施設	34,196	普通ごみ	焼却	泉北クリーンセンター ごみ焼却施設	11,008.26
資源ごみ	リサイクル	泉北クリーンセンター 資源ごみ小型選別処理 施設	987.75	資源物 (缶・び ん等)	リサイクル	泉北クリーンセンター 資源ごみ小型選別処理 施設	3,585.00	資源 (リサイ クル) 不燃ごみ	リサイクル	泉北クリーンセンター 資源ごみ小型選別処理 施設	658.63
				新分別 蛍光灯	リサイクル	泉北クリーンセンター 資源ごみ小型選別処理 施設及び委託処理*1					
粗大ごみ	破碎・選別	泉北クリーンセンター 粗大ごみ処理施設	153.28	粗大ごみ	破碎・選別	泉北クリーンセンター 粗大ごみ処理施設	526	粗大ごみ	破碎・選別	泉北クリーンセンター 粗大ごみ処理施設	142.61

(注) *1: 和泉市内でプラスチックボトル等、白色トレイ及び廃乾電池を委託処理している。



今 後 (平成28年度)								
泉大津市		和泉市		高石市		処理施設等		処理予測 (トン)
分別区分		分別区分		分別区分		一次処理	二次処理	
可燃ごみ		日常ごみ		普通ごみ		泉北クリーンセンター ごみ焼却施設	(焼却灰) 松尾寺山最終処分場 ※フェニックス最終処分場	45,934
資源ごみ	空きカン、空きびん、 スプレー缶、 カセット式ボンベ、 乾電池、ガラス類、 蛍光灯、ペットボ トル(飲料用)、食品 トレイ その他プラ容器、 古紙類等	資源物 (缶・び ん等)	空き缶、空きびん、 スプレー缶、 カセット式ボンベ、 乾電池、ガラス類	資源 (リサイ クル)	アルミ缶、スチール 缶、コーヒー缶、お 茶の缶、海苔の缶、 お菓子の缶、缶づめ の缶、カセットボン ベ、スプレー缶、ド リンクのびん、ワイ ンのびん、割れたび ん、ペットボトル、 その他紙製容器、白 色トレイ類	泉北環境整備施設組合 (仮称) マテリアルリサイクル 推進施設		7,249
		新分別 蛍光灯	ペットボトル、ペッ トボトルのキャッ プ、プラスチックボ トル、白色トレイ 古紙類等	不燃ごみ				
粗大ごみ		粗大ごみ		粗大ごみ		泉北クリーンセンター 粗大ごみ処理施設		854

(注) ※フェニックス最終処分場は、神戸沖・大阪沖埋立最終処分場である。

(3) 処理施設等の整備

ア 廃棄物処理施設

上記(2)のとおり、本地域の泉北クリーンセンター資源ごみ小型選別処理施設の老朽化が著しいことからごみの安全・安定処理等の適正処理を進めるため、循環型社会の構築に向けて表3のとおり施設の新設に取り組んでいく。

表3 整備する処理施設

事業番号	施設整備種類	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間
1	マテリアルリサイクル推進施設	泉北環境整備施設組合 資源化センター整備事業	25 t/5h	本地域	H25～H27

※現有施設の概要は、別紙を参照

(整備理由)

事業番号1 既存施設の老朽化、適正処理の継続を図るため。

(4) 施設整備に関する計画支援事業

(3)の施設整備に先立ち、表4のとおり計画支援事業を行う。

表4 実施する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
31	泉北環境整備施設組合 資源化センター整備事業 (事業番号1)に係る基本計画事業	基本計画	H23
	泉北環境整備施設組合 資源化センター整備事業 (事業番号1)に係る調査事業	生活環境影響調査	H24
	泉北環境整備施設組合 資源化センター整備事業 (事業番号1)に係る発注仕様書等作成事業	見積・発注仕様書、 技術評価書等作成	H24
	泉北環境整備施設組合 資源化センター整備事業 (事業番号1)に係る測量・地質調査等事業	土壌汚染調査・測量調 査・地質調査等	H24
	泉北環境整備施設組合 資源化センター整備事業 (事業番号1)に係る実施設計事業	実施設計業務	H26

(5) その他の施策

その他、循環型社会の構築に向けて、以下の施策を継続・実施していく。

ア 集団回収によるごみ減量活動の推進

集団回収による古紙・古布等の資源物回収も一定の成果を上げている状況の中で、更なる推進を図ることにより、ごみ減量化を行っていく。また、集団回収活動を実施している団体に対して交付している助成金等についても充実することを検討する。

イ 不法投棄対策

本地域の町内会など一体となった普及啓発により、分別区分の徹底を進め、構成市においてはパトロールの強化や街灯の設置などを行い、不法投棄防止を図る。

ウ 災害時の廃棄物処理に関する事項

各市が策定した地域防災計画を踏まえ、かつ、災害時に発生する廃棄物の広域的処理体制の確保を図るため、地域内及び周辺地域との連携体制を構築する。

なお、災害時のごみの仮置き場については表5のとおりである。

表5 災害時のごみの仮置き場

泉大津市	一時集積場所を指定する。 公的空地（オープンスペース）
和泉市	保健衛生上適当と思われる場所を指定して臨時集積所を設ける。
高石市	一時集積場所を指定する。 公的空地（オープンスペース）

4 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、大阪府および国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、計画の事後評価、目的達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

樣 式 關 係

様式 1

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1 (平成 23 年度)

1. 地域の概要

(1) 地域名	泉大津市・和泉市・高石市	(2) 地域内人口	324,112人 (H22.3末)	(3) 地域面積	109.28 km ²
(4) 構成市町村名等	泉大津市・和泉市・高石市	(5) 地域の要件*	(人口) 面積 沖繩 離島 奄美 豪雪 山村 半島 過疎 その他		
(6) 構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	組合を構成する市町村：泉大津市・和泉市 組合を構成する市町村：泉大津市・和泉市・高石市 設立されていない場合、今後の見通し：－	創立年月日：昭和38年2月設立 設立年月日：昭和41年5月設立			

* 交付要綱で定める交付対象となる要件のうち、該当する項目全てに○を付ける。

2. 一般廃棄物の減量化、再生

2. 一般廃棄物の減量化、再生

指標・単位	年	過去の状況・現状 (排出量に対する割合)					目標
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成28年度
排出量	事業系 総排出量 (トン)	45,205	45,184	42,525	38,522	35,782	36,066 (H21比 0.8%)
	1事業所当たりの排出量 (トン/事業所)	3.85	3.84	3.61	3.26	3.03	2.93 (H21比 -3.3%)
	家庭系 総排出量 (トン)	77,880	77,447	74,487	69,113	65,632	54,037 (H21比 -17.7%)
	1人当たりの排出量 (kg/人)	224.29	220.94	212.27	197.31	186.36	142.53 (H21比 -23.5%)
	合計 事業系家庭系排出量合計 (トン)	123,085	122,631	117,012	107,635	101,414	90,103 (H21比 -11.2%)
再生利用量	直接資源化量 (トン)	2,218 (1.8%)	2,930 (2.4%)	2,861 (2.4%)	2,386 (2.2%)	2,215 (2.2%)	1,619 (1.8%)
	総資源化量 (トン)	20,327 (14.9%)	20,752 (15.3%)	20,259 (15.6%)	19,343 (16.2%)	19,228 (17.0%)	21,286 (20.8%)
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量 MWh)	59,046	57,073	56,817	52,434	52,752	45,800
減量化量	中間処理前後の差 (トン)	99,287 (80.7%)	98,511 (80.3%)	94,461 (80.7%)	87,237 (81.0%)	80,673 (79.5%)	69,330 (76.9%)
最終処分量	埋立最終処分量 (トン)	16,604 (13.5%)	16,410 (13.4%)	15,078 (12.9%)	13,134 (12.2%)	13,126 (13.0%)	11,866 (13.2%)

※別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付する。

(注) 四捨五入による端数処理をしているため、合わない箇所がある。

3. 一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定

3. 一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容				更新、廃止、新設の内容					備考
		型式及び処理方式	補助の有無	処理能力 (単位)	開始年月	更新、廃止予定年月	更新、廃止、新設理由	型式及び処理方式	施設竣工予定年月	処理能力 (単位)	
泉北環境整備施設組合 資源ごみ小型選別処理施設	泉北環境整備施設組合	選別・圧縮	有	25 t/7h	S55.3	H28.3	老朽化、集約処理	選別・圧縮式	H28.4	25 t/5h	
泉北環境整備施設組合 ごみ処理施設 (5号炉)	泉北環境整備施設組合	焼却	無	150 t/日	H3.3						
泉北環境整備施設組合 ごみ処理施設 (1・2号炉)	泉北環境整備施設組合	焼却	無	150×2 t/日	H15.3						
泉北環境整備施設組合 粗大ごみ処理施設	泉北環境整備施設組合	破碎・選別	無	22 t/5h 18 t/5h	H15.3						
泉北環境整備施設組合 松尾寺山最終処分場	泉北環境整備施設組合	埋立	無	410,430 m ³	H5.3						

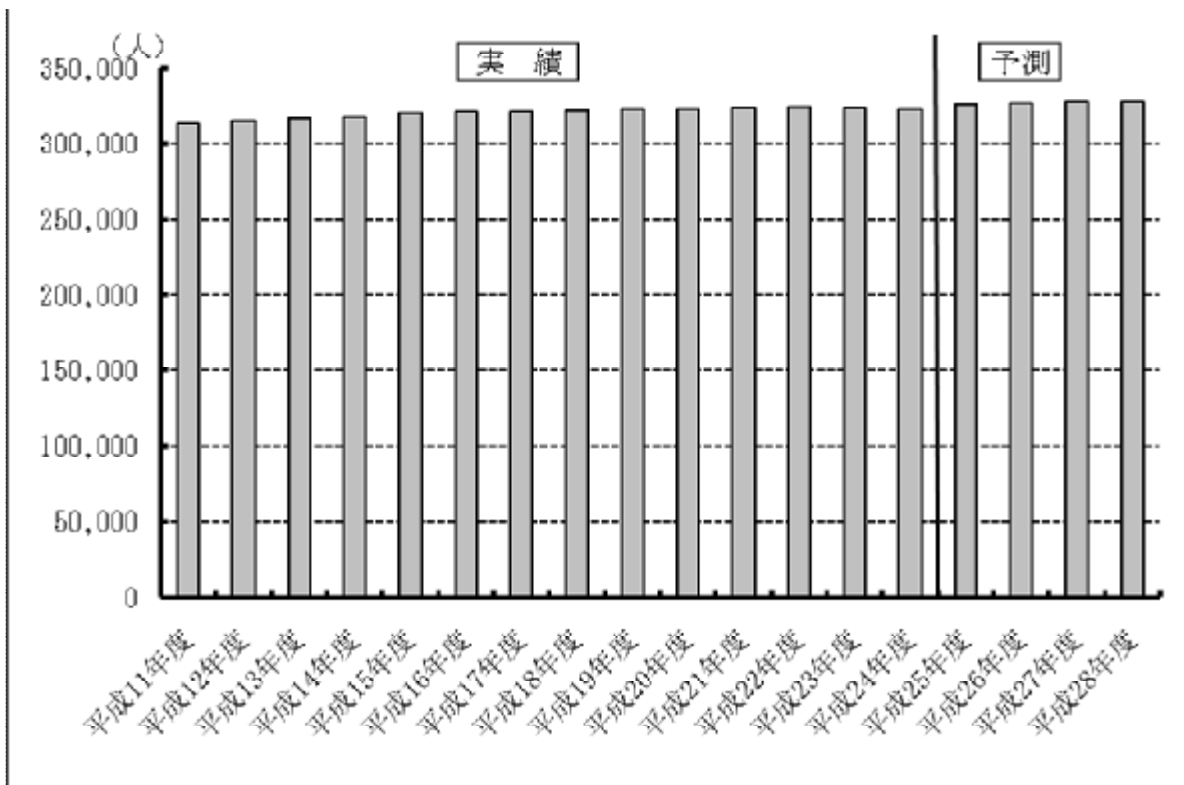
※現有施設の概要及び計画地域内の施設の状況 (現況、予定) を地図上に示したものを参照。

本地域の計画収集人口の将来予測を表様式1-1に示す。

表 様式1-1 計画収集人口の将来予測

(人)

区分	年度	実績・予測			
		泉大津市	和泉市	高石市	合計
実績	平成11	76,224	174,723	62,758	313,705
	12	76,764	176,044	62,811	315,619
	13	77,506	176,772	62,495	316,773
	14	77,538	178,363	62,061	317,962
	15	77,902	180,167	61,918	319,987
	16	78,057	181,083	61,704	320,844
	17	78,130	182,005	61,402	321,537
	18	78,390	182,554	60,928	321,872
	19	78,230	183,529	60,774	322,533
	20	78,080	184,718	60,504	323,302
	21	77,616	186,166	60,330	324,112
	22	77,397	186,953	60,088	324,438
	23	77,294	187,334	59,448	324,076
	24	76,729	187,108	59,047	322,884
予測	25	77,274	189,122	59,789	326,185
	26	77,205	189,905	59,789	326,899
	27	77,144	190,659	59,789	327,592
	28	77,089	191,386	59,789	328,264



本地域の排出ごみ量の将来目標を表様式1-2に示す。

表 様式1-2 排出ごみ量の将来目標

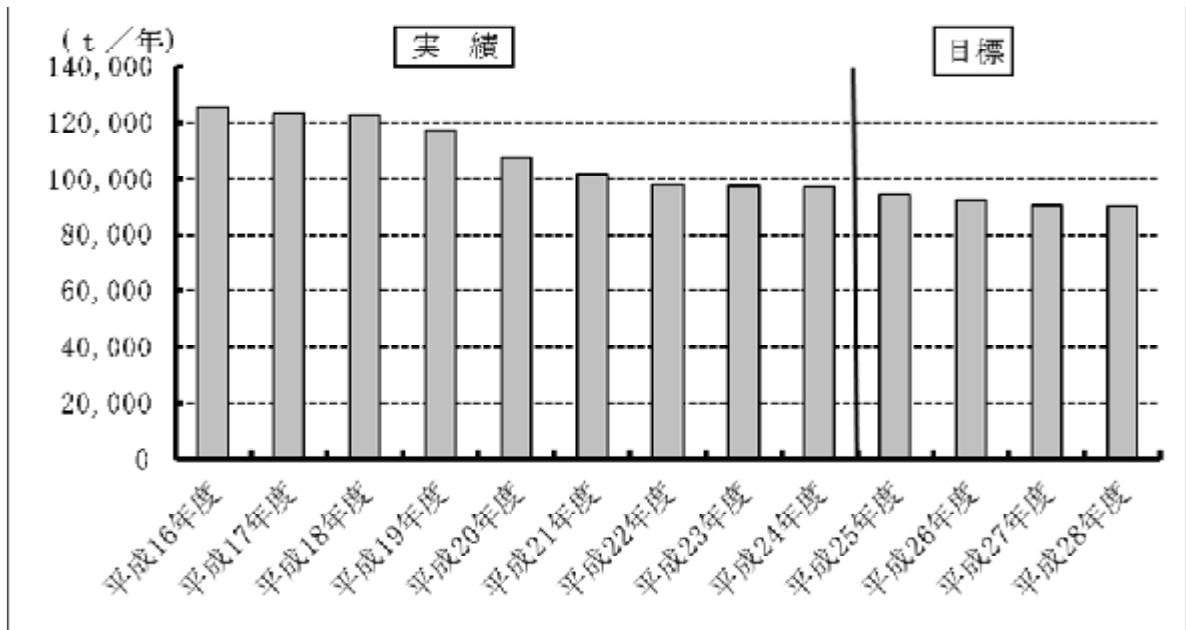
排出ごみ量

(t/年)

区分	予測式 年 度	実績・目標			
		泉大津市	和泉市	高石市	合計
実績 ↓	平成16	33,727	67,150	24,257	125,134
	17	32,542	67,199	23,344	123,085
	18	33,917	64,809	23,905	122,631
	19	32,103	63,335	21,573	117,011
	20	28,942	59,241	19,452	107,635
	21	26,756	56,237	18,421	101,414
	22	25,012	54,851	17,900	97,763
	23	23,996	55,713	17,947	97,656
	24	23,744	55,188	17,943	96,875
目標 ↓	25	21,765	55,114	17,582	94,461
	26	21,570	53,833	17,156	92,559
	27	21,509	52,522	16,754	90,785
	28	21,330	52,511	16,261	90,103

(注) 四捨五入による端数処理をしているため、合わない箇所がある。

※) H22年度は、基本計画値から、実績値に変更した。



本地域の家庭系ごみ量の将来目標を表様式1-3に示す。

表 様式1-3 家庭系ごみ量の将来目標

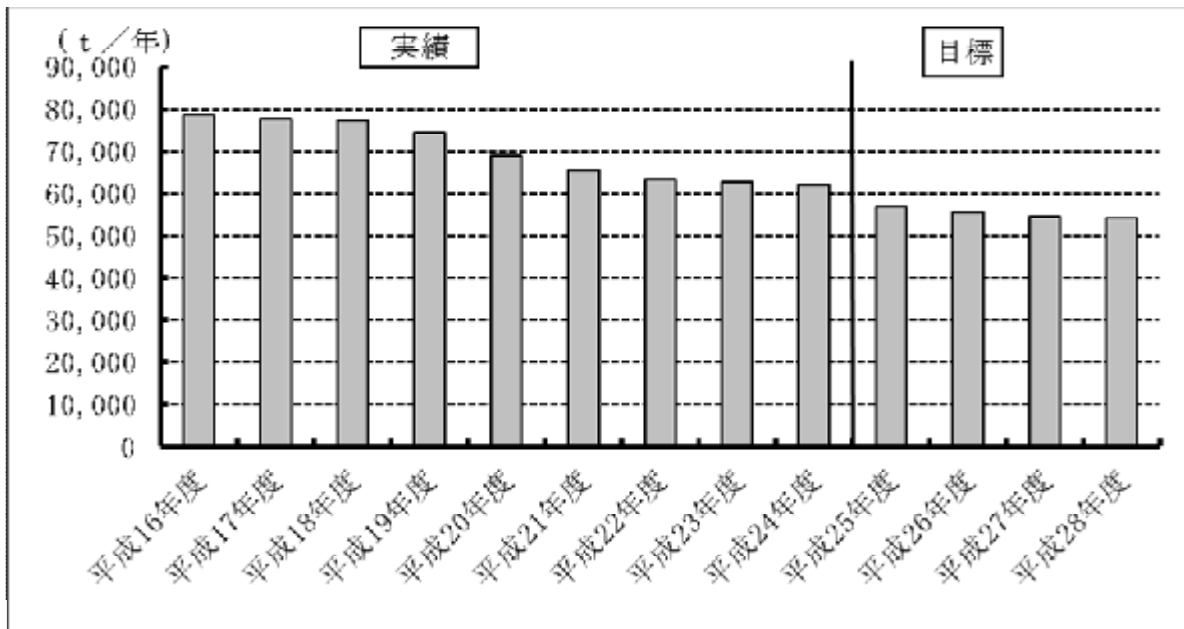
家庭系ごみ

(t/年)

区分	予測式 年 度	実績・目標			
		泉大津市	和泉市	高石市	合計
実績 ↓	平成16	20,596	42,916	15,292	78,804
	17	19,790	43,134	14,956	77,880
	18	20,605	41,702	15,140	77,447
	19	19,460	41,654	13,373	74,487
	20	17,514	39,108	12,491	69,113
	21	15,515	38,307	11,810	65,632
	22	14,322	37,579	11,221	63,122
	23	13,202	37,917	11,380	62,499
	24	12,975	37,497	11,526	61,998
目標 ↓	25	10,637	34,941	11,261	56,839
	26	10,467	34,202	10,977	55,646
	27	10,378	33,396	10,701	54,475
	28	10,233	33,438	10,366	54,037

(注) 四捨五入による端数処理をしているため、合わない箇所がある。

※) H22年度は、基本計画値から、実績値に変更した。



本地域の事業系ごみ量の将来目標を表様式1-4に示す。

表 様式1-4 事業系ごみ量の将来目標

(t/年)

区分	予測式 年度	実績・目標			
		泉大津市	和泉市	高石市	合計
実績 ↓	平成16	13,131	24,234	8,965	46,330
	17	12,752	24,065	8,388	45,205
	18	13,312	23,107	8,765	45,184
	19	12,644	21,681	8,200	42,525
	20	11,428	20,133	6,961	38,522
	21	11,241	17,930	6,611	35,782
	22	10,690	17,272	6,679	34,641
	23	10,794	17,796	6,567	35,157
	24	10,769	17,691	6,417	34,877
目標 ↓	25	11,128	20,173	6,322	37,623
	26	11,103	19,631	6,179	36,913
	27	11,131	19,126	6,054	36,311
	28	11,098	19,073	5,895	36,066

(注) 四捨五入による端数処理をしているため、合わない箇所がある。

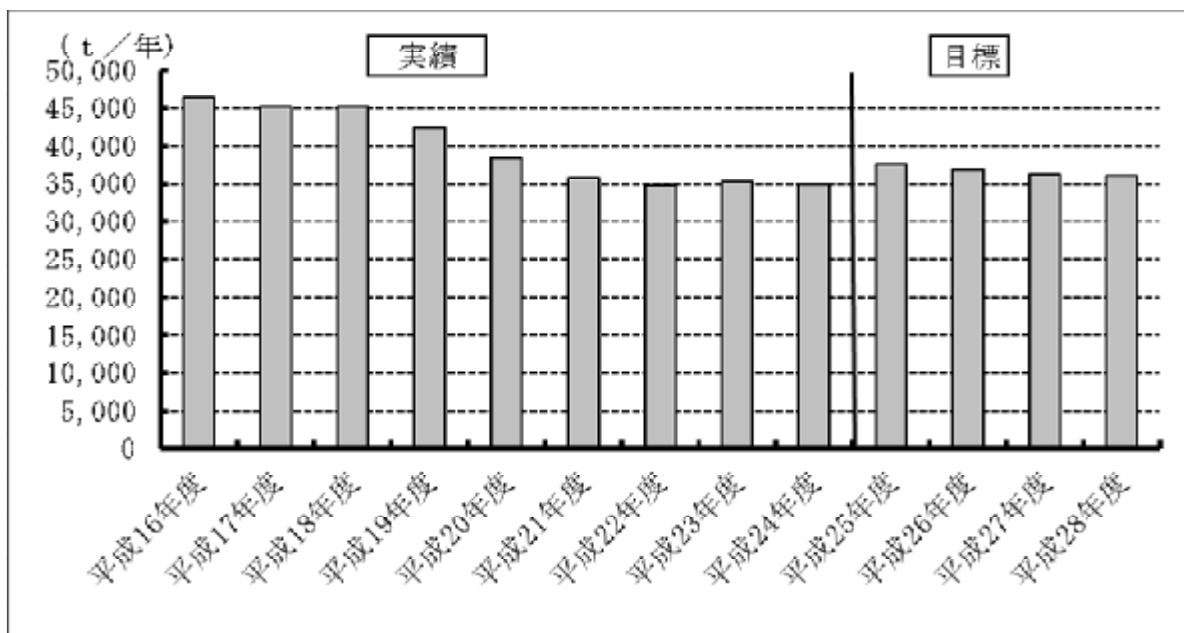




図 様式 1 - 1 計画地域内の施設の状況 (現況、予定)

様式 2

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2 (平成 23 年度)

事業種別 事業名称	事業番号 ※1	事業主体 名称 ※2	規模 単位	事業期間 交付期間		総事業費 (千円)					交付対象事業費 (千円)					備考		
				開始	終了	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度			
○ マテリアルリサイクル推進施設						1,626,082			244,222	110,700	1,271,160	1,493,840			167,241	103,655	1,222,944	
資源化センター整備事業	1	泉北環境整備施設組合	25 t/5h	H25	H27	1,626,082			244,222	110,700	1,271,160	1,493,840			167,241	103,655	1,222,944	平成25年度 用地費 244,222千円含む
○ 施設整備に関する計画支援事業						43,064	4,137	16,247		22,680		41,389	3,960	16,247		21,182		
施設基本計画・設計等				H23	H23	4,137	4,137					3,960	3,960					
生活環境影響調査				H24	H24	3,885		3,885				3,885		3,885				
見積仕様書・発注仕様書、技術評価書等の作成				H24	H24	4,095		4,095				4,095		4,095				
土壌汚染調査・測量調査・地質調査				H24	H24	8,267		8,267				8,267		8,267				
実施設計業務				H25	H26	22,680				22,680		21,182				21,182		
合計						1,669,146	4,137	16,247	244,222	133,380	1,271,160	1,535,229	3,960	16,247	167,241	124,837	1,222,944	

様式 3

施策種別	事業番号	施策の名称等	施策の概要	実施主体	事業期間		交付金 必要の要否	事業計画					備考	
					開始	終了		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	ごみの有料化	事業系ごみの有料化を実施し、ごみの減量を図る。	泉北環境整備施設組合	-	-	×			事業継続・適宜検討				
			家庭系ごみの有料化	泉大津市 高石市	H22 H25	-	×			事業継続・適宜検討				
	12	ごみ排出抑制の取り組み	市民、事業者、行政それぞれの取り組みの効果を検証する。	泉大津市 和泉市 高石市	-	-	×			事業継続				
	13	情報提供	ごみ処理の現状や本地域の施策、各種団体の活動紹介、一般家庭や個人のできる発生抑制及び再利用への取り組み紹介する。	泉大津市 和泉市 高石市	-	-	×			事業継続・拡充				
処理体制の構築、変更に関するもの	21	事業系ごみの適正排出	不適切なごみの受入検査を行う。	泉北環境整備施設組合	-	-	×			事業継続・適宜検討				
処理施設の整備に関するもの	1	泉北環境整備施設組合 資源化センター整備事業		泉北環境整備施設組合	H25	H27	○			用地購入		建設工事	関連事業 31	
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	1の計画支援		泉北環境整備施設組合	H23	H26	○	施設基本計画・設計		生活環境影響調査				
								見積仕様書、発注仕様書、技術評価書		実施設計				
								土壌汚染調査、測量・地質調査						
その他	41	集団回収によるごみ減量活動の推進	各市が行っている集団回収を今後も引き続き行い、推進する。	泉大津市 和泉市 高石市	-	-	×			事業継続・推進				
	42	不法投棄対策	本地域の不法投棄防止の強化を図る。	泉大津市 和泉市 高石市	-	-	×			事業継続・強化				
	43	災害時の廃棄物処理に関する事項	各市が策定した地域防災計画を踏まえた体制を整備する。	泉大津市 和泉市 高石市	-	-	×			事業継続・調整・検討				

※1 処理施設の整備に係る事業番号については、計画本文3(3)表4に示す事業番号及び様式2の事業番号と一致させること。

※2 事業期間の開始・終了の「-」は、計画期間以前に取り組んでいるため、基本的に事業の継続としており、適宜検討や拡充を図りつつ推進していく。

施設概要（リサイクル施設系）

都道府県名 大阪府

(1) 事業主体名	泉北環境整備施設組合
(2) 施設名称	泉北環境整備施設組合 資源化センター
(3) 工期	平成25年度～平成27年度
(4) 施設規模	処理能力 25 t / 5h
(5) 処理方式	選別・圧縮処理
(6) 地域計画内の役割	資源物の回収、リサイクル拠点の整備
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>

「廃棄物原材料化施設」を整備する場合

(8) 生成する原材料及びその利用計画	
---------------------	--

「ごみ固形燃料化施設」を整備する場合

(9) 固形燃料の利用計画	
---------------	--

「ストックヤード」を整備する場合

(10) スtock対象物	
---------------	--

「容器包装リサイクル推進施設」を整備する場合

(11) 容器包装リサイクル推進施設の内訳	①分別収集回収拠点の整備 処理品目：空き缶類 空びん その他容器包装プラスチック ペットボトル 白色トレイ等 古紙類
-----------------------	--

(12) 事業計画額	1,626,082千円
------------	-------------

計 画 支 援 概 要

都道府県名 大阪府

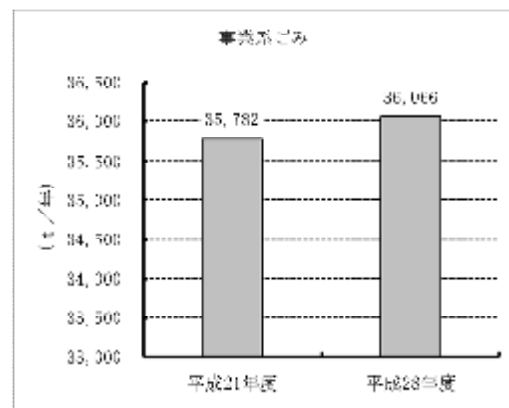
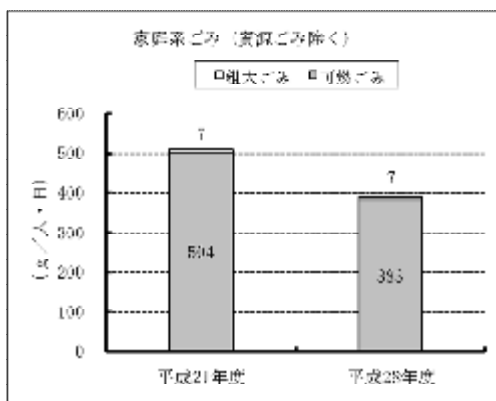
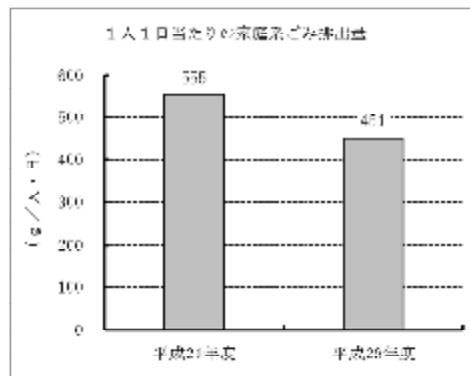
(1) 事業主体名	泉北環境整備施設組合		
(2) 事業目的	泉北環境整備施設組合 マテリアルリサイクル推進 施設整備のため		
(3) 事業名称	泉北環境整備施設組合 資源化センター整備事業 に係る基本計画事業	泉北環境整備施設組合 資源化センター整備事業 に係る 調査事業	泉北環境整備施設組合 資源化センター整備事業 に係る 発注仕様書等作成事業
(4) 事業期間	平成23年度	平成24年度	平成24年度
(5) 事業概要	施設基本計画・設計	生活環境影響調査	見積仕様書・発注仕様書、 技術評価書等の作成
(6) 事業計画額	3,960,000 円	3,885,000 円	4,095,000 円

計 画 支 援 概 要

都道府県名 大阪府

(1) 事業主体名	泉北環境整備施設組合		
(2) 事業目的	泉北環境整備施設組合 マテリアルリサイクル推進 施設整備のため		
(3) 事業名称	泉北環境整備施設組合 資源化センター整備事業 に係る 測量・地質調査等事業	泉北環境整備施設組合 資源化センター整備事業 に係る 実施設計事業	
(4) 事業期間	平成24年度	平成26年度	
(5) 事業概要	土壌汚染調査・ 測量調査・地質調査	実施設計業務	
(6) 事業計画額	8,267,000 円	22,680,000 円	

添 付 資 料



目標の設定に関するグラフ
 分別区分説明資料（家庭系ごみ）

現 状 (平成21年度)					
泉大津市		和泉市		高石市	
分別区分	主なごみの種類	分別区分	主なごみの種類	分別区分	主なごみの種類
可燃ごみ	台所ごみ、カバン・靴等、革製品、ビデオテープ、石油ポリ容器・プラスチック類、(その他)発砲スチロール・再生できない紙ごみ	日常ごみ	台所ごみなど、カセット・ビデオテープ、CD、洗面器、石油ポリタンクなど、靴、カバン、ベルトなど、座布団、肌着、下着、くつ下、カーテン、クッション、雑きん、卵パックの容器・即席カップめんの容器・飲料用以外のボトル(油、ソース、マヨネーズなど)、プラスチック製品(ハンガー、フランチター、まな板など)、プラスチックトレイ、梱包用発砲スチロール・両面色付きトレイ・汚れた紙類など	普通ごみ	台所ごみ(水をきって)、プラスチック類、革製品・バッグ、はきもの、小さな木製品、ぬいぐるみ、ざぶとん、ゴムホース・ゴムマット、ポリタンク(空)、ビデオテープ、カセットテープ、CD、木の枝・雑草(短く切って)
資源ごみ	空きカン、空きびん、一升びん、せともの、植木鉢、乾電池、ガラス類、蛍光灯	資源物(缶・びん等)	空き缶、空きびん、スプレー缶、カセット式ボンベ、乾電池、せともの、ガラス類	資源(リサイクル)不燃ごみ	アルミ缶、スチール缶、コーヒー缶、お茶の缶、海苔の缶、お菓子の缶、缶づめの缶、カセットボンベ、スプレー缶、ドリンクのびん、ワインのびん、割れたびん
	ペットボトル(飲料用)、新聞、ダンボール、菓子・ティッシュペーパーの箱紙、ビールのびん、コーラのびん	新分別 蛍光灯	ペットボトル、ペットボトルのキャップ、プラスチックボトル、白色トレイ、古着、新聞・雑誌、段ボール、その他の紙類		ペットボトル・お茶、ジュース等の飲料用ボトル、白色トレイ類
粗大ごみ	タンス、机等の家具類、家電用電化製品(家電4品目を除く)、ふとん、カーペット、畳、布団類、自転車、三輪車等の乗り物、小型不燃ごみ(スプーン、フォーク、フライパン、針金ハンガー、アイロン、ドライヤー等はゴミ袋にまとめたものを1点とします。)	粗大ごみ	タンス、机、ベッド、マットレス、戸棚、テーブル、ソファ、扇風機、掃除機、電子レンジ、電気ポット、電気カーペット、かさ、なべ、やかん、フライパン、一斗缶、時計、ハンガー(金属が付いているもの)、包丁、自転車、三輪車、一輪車、ラジカセ、ストーブ、畳、布団(45ℓ袋に入らないもの)、じゅうたん(45ℓ袋に入らないもの)など	粗大ごみ	電気・ガス・石油・厨房器具類、家具・寝具類、趣味・スポーツ・レジャー用品類、その他



今 後 (平成28年度)					
泉大津市		和泉市		高石市	
分別区分	主なごみの種類	分別区分	主なごみの種類	分別区分	主なごみの種類
可燃ごみ	台所ごみ、カバン・靴等、革製品、ビデオテープ、石油ポリ容器・プラスチック類、(その他)発砲スチロール・再生できない紙ごみ	日常ごみ	台所ごみなど、カセット・ビデオテープ、CD、洗面器、石油ポリタンクなど、靴、カバン、ベルトなど、座布団、肌着、下着、くつ下、カーテン、クッション、雑きん、卵パックの容器・即席カップめんの容器・飲料用以外のボトル(油、ソース、マヨネーズなど)、プラスチック製品(ハンガー、フランチター、まな板など)、プラスチックトレイ、梱包用発砲スチロール・両面色付きトレイ・汚れた紙類など	普通ごみ	台所ごみ(水をきって)、プラスチック類、革製品・バッグ、はきもの、小さな木製品、ぬいぐるみ、ざぶとん、ゴムホース・ゴムマット、ポリタンク(空)、ビデオテープ、カセットテープ、CD、木の枝・雑草(短く切って)
資源ごみ	空きカン、空きびん、スプレー缶、カセット式ボンベ、乾電池、ガラス類、蛍光灯	資源物(缶・びん等)	空き缶、空きびん、スプレー缶、カセット式ボンベ、乾電池、ガラス類	資源(リサイクル)不燃ごみ	アルミ缶、スチール缶、コーヒー缶、お茶の缶、海苔の缶、お菓子の缶、缶づめの缶、カセットボンベ、スプレー缶、ドリンクのびん、ワインのびん、割れたびん
	ペットボトル(飲料用)、食品トレイ、その他プラ容器、古紙類等	新分別 蛍光灯	ペットボトル、ペットボトルのキャップ、プラスチックボトル、白色トレイ、古紙類等		ペットボトル・お茶、ジュース等の飲料用ボトル、白色トレイ類、その他紙製容器包装
粗大ごみ	タンス、机等の家具類、家電用電化製品(家電4品目を除く)、ふとん、カーペット、畳、布団類、自転車、三輪車等の乗り物、小型不燃ごみ(スプーン、フォーク、フライパン、針金ハンガー、アイロン、ドライヤー等はゴミ袋にまとめたものを1点とします。)	粗大ごみ	タンス、机、ベッド、マットレス、戸棚、テーブル、ソファ、扇風機、掃除機、電子レンジ、電気ポット、電気カーペット、かさ、なべ、やかん、フライパン、一斗缶、時計、ハンガー(金属が付いているもの)、包丁、自転車、三輪車、一輪車、ラジカセ、ストーブ、畳、布団(45ℓ袋に入らないもの)、じゅうたん(45ℓ袋に入らないもの)など	粗大ごみ	電気・ガス・石油・厨房器具類、家具・寝具類、趣味・スポーツ・レジャー用品類、その他

現有施設の概要

焼却処理施設の概要

A. 施設名称	泉北環境整備施設組合 ごみ処理施設（5号炉）
B. 所在地	大阪府和泉市舞町 87番地
C. 竣工年	平成3年3月
D. 延床面積	8,897.39㎡
E. 施設の種類	焼却処理
F. 処理能力	150 t / 日 × 1 炉
G. 処理する廃棄物	燃えるごみ、その他処理後残渣
H. 焼却残渣処分方法	埋立処分（フェニックス最終処分場）
I. 運 転 管 理 体 制	委託

A. 施設名称	泉北環境整備施設組合 ごみ処理施設（1号炉・2号炉）
B. 所在地	大阪府和泉市舞町 87番地
C. 竣工年	平成15年3月
D. 延床面積	23,389.30㎡
E. 施設の種類	焼却処理
F. 処理能力	150 t / 日 × 2 炉
G. 処理する廃棄物	燃えるごみ、その他処理後残渣
H. 焼却残渣処分方法	埋立処分（フェニックス最終処分場）
I. 運 転 管 理 体 制	直営・一部委託

資源化処理施設の概要

A. 施設名称	泉北環境整備施設組合 資源ごみ小型選別処理施設
B. 所在地	大阪府和泉市舞町 87番地
C. 竣工年	昭和55年3月
D. 延床面積	871㎡
E. 施設の種類	選別・圧縮処理
F. 処理能力	25 t / 7 h
G. 処理する廃棄物	スチール缶、アルミ缶、ビン類
H. 運 転 管 理 体 制	委託

粗大ごみ処理施設の概要

A. 施設名称	泉北環境整備施設組合 粗大ごみ処理施設
B. 所在地	大阪府和泉市舞町 87番地
C. 竣工年	平成15年3月
D. 延床面積	ごみ処理施設1号炉、2号炉分に含む
E. 施設の種類	破碎・選別処理
F. 処理能力	不燃粗大ごみ処理設備：22 t / 5 h 可燃粗大ごみ処理設備：18 t / 5 h
G. 処理する廃棄物	粗大ごみ
H. 運 転 管 理 体 制	委託

最終処分場施設の概要

A. 施設名称	泉北環境整備施設組合 松尾寺山最終処分場
B. 所在地	大阪府和泉市松尾寺山町1876番地
C. 埋立容量	410,430m ³
D. 施設の種類	埋立処分
E. 埋立方法	サンドイッチ工法
F. 処理する廃棄物	焼却残渣（主灰，飛灰）、ガレキ
G. 運 転 管 理 体 制	委託

